

○「仕事のやりがい」に係る主な意見

No.	意見内容	発言者	区分	発言部会
1	<u>20代の方が結構下がっている</u> 、30代の方もそうなのですけども、あとは仕事のやりがいに対する、臨時雇用者の方が「仕事のやりがい」と「必要な収入や所得」というところで、下がっているというのが属性のところでも、そうなのですけども、「仕事のやりがい」のところの資料3、4を見ると、それぞれの数字が少しずつ下がっているように私には見えて、分からないというか、非常勤の方も少しずつ増えているが、こういったところがひょっとすると何かこの数年の影響なのか、コロナの影響ですとか気になるので、ちょっと気になりながら今回見ていた。というも、たしかちょっと前の日経新聞に日本の仕事の関係として、例えば労働時間数としては少しずつ減ってきているということで、少しずつ労働環境としては改善の方向にいますのだけれども、でも仕事のやりがいという面では、少なくともこれはいろんな国との比較ということで低いというのが続いている。私の記憶が正しければですね、そういったデータを見たこともありまして、ちょっとこの <u>20代の方、あと70代の方のやりがいというのは今回ちょっと気になる。</u>	山田委員	意見	第2回
2	難しいのですけれども、また資料6―2の分野別実感の補足調査の方の集計を見ると、 <u>あくまでも印象レベルの話だが、仕事のやりがい、実感が上昇している人というのはあまりお金のことは言わない。</u> だから、 <u>お金がたくさんいただけているからやりがいがあるという回答にはなっていない</u> 、ざっくり言って、 <u>やっぱり実感が低下した人というのはお金の問題が出てくる。</u> ということは、何かある種給料、収入のことについて一種の閾値みたいなものがあって、そこを超えてしまうと、それはあまり気にしないよと。ほかのことで仕事のやりがいがあるかないかという判断になるのでしょうかけれども、やっぱりその一定ラインを超えられないと、やっぱりそこが大きなウェイトを占めてくると。	谷藤委員	意見	
3	これ <u>収入ともクロスとれる</u> のでしたか、やりがいをとろうとすれば。個別に収入聞いていますよね。とれますよね。ちょっとやってみると低収入、中収入、高収入のところとやりがいのこの分布なんかはもしかして同じだったらいいけれども、違っていると今の谷藤委員のような所得が高い人は困らないから実感が高いということですかね。	吉野部会長	資料2-④-2	
4	だから、そこに意識が向かわない程度の所得というのが多分あるのだと思います。どうしても次の項目とも関わってきますけれども、やっぱり一定の収入がないと生活自体が回っていかないので、そこ気にしなくてもよくなるとほかのことに多分意識が向き始めるのではないかなと。 ただ、月々の収入が保証されている正社員というのは、これはあまりそういう意識を持たなくなるかもしれない、収入に対する懸念というのはなくなる。 ただ、強いて言うと正社員だってボーナスの額は会社の業績で大分変動しますので、支給する側の立場からいうと本当に申し訳ないのだけれども、出せないときもあったりするんで、この辺は正社員だから大丈夫ということにはならないので、確実にこれぐらい収入があると言えないところはあるのですが、ただ少なくとも月例給料は保証されるので、その最低ラインの安定性というか、そういうものはあるが、いずれにしても <u>人によってその水準は違うのかもしれないけれども、何か閾値になるようなラインがどこかにあるのかなと思って見ていた。</u> あとここで気をつけなければいけないのは、仕事していない人も結構いるのだと。 <u>仕事をしていない人についてはちょっと割り引いて見なければいけないところがあるかな。実際に間もなく私も年金生活者になりますので、自分の意識がどう変わるのかなというのが今から私なりに興味があるというか、不安なところではあるのですけれども、いずれその辺いろいろ考慮しながら見ていかなければならないのかなと思った。</u>	谷藤委員	意見	

5	<p>職場の人間関係というのも気にしている人が多い。今日の新聞で、いわゆるパワハラの訴えが岩手県だったかどこかですごくここ1年で増えて、今までそんなになかったのにパワハラ案件が、相談案件が、労働局かな、増えているので、やっぱりこういう御時世になって、上司からかなりきついことを言われたりすることが多くなっているのか、あるいは今まで感じなくてよかったことを感じるようになったのかは分からないですけども、そういった労働環境みたいなものが仕事のやりがいにもやっぱり関係しているのかなと。例えば上がっている人は職場の人間関係はよいという方向に向かっているはずで、下がっている人は悪いというか、よくない、そういう関係性の問題もある、職場の中で。</p>	吉野部会長	意見	第2回
6	<p>今谷藤委員からお話のあったことを受けて、私からもちょっと気になったところ、70歳以上で無職の方が結構多いと。そして、実は今年年代別で70歳以上が寄与度は0.08なので、全体平均で0.12下がっているのですが、そのうちの0.08は70歳以上の人で押し下げている。</p> <p>なので、この人たちが答えなければ、もしかしたら横ばいだったのかなというぐらいの寄与度であるというのが1つ。</p> <p>そして、あともう一つは資料6—2の補足調査の理由のところを見てみると、以前に仕事をしていたが、今はしていないという、今でない人が18.3と、ここというのは今までずっと低い数字で来ていたのですけども、今回ここが18.3%と結構多いんですね。なので、気をつけなければいけないという意味では、今回本来あまり我々がターゲットにしなくてもいい人が答えて押し下げている可能性があるかなというのが谷藤委員おっしゃるとおりかなと思う。</p> <p>一方で、今まで落ちていなかった20歳から29歳が落ちているということが非常にここは課題なのかなというふうに思っています。そして、今吉野先生おっしゃったように職場の人間関係とか、要はこの方々は何で落ちているのかというのはちょっと気にする必要があるのかなと考える。</p>	和川委員	意見	
7	<p>経年変化、資料5—2の仕事のやりがいを今見ながら思ったのは、これ前回和川委員が言ったようにこの平成31年の基準年、多くの場合、これトップということになっている。</p> <p>例えば70歳以上の属性、トップなのです、すごく。これを除くとほとんど変わらない、平成28年から。</p> <p>何だろうかと。60歳以上の無職もとなると、さっきの和川委員みたいに20から29歳の皆さん、ちょっと元気が何か急に下がって行って。</p> <p>あと沿岸が何となくこれまで維持してきたところが落ちている問題がありそうな気がする。</p> <p>ほかの地域はまだ上がったり下がったりしているような気がしているのですが、ここはちょっとだけは上がるのですけれども、でも何となく気になったところ。</p>	Tee委員	意見	
8	<p>皆さんのおっしゃるとおりだろうなというふうにも思っているが、補足調査の方で仕事のやりがいのところを見ると、やっぱり収入の問題というのが年齢とかそういうことがどうなっているかちょっとよく分からないのですが、明らかに実感が低下した人というのが42.5というポイントで、ほかのところと10ポイント以上高いというのがやっぱりあるので、1つは大きな要因としては収入が下がったというのがやりがいが落ちたということと、まず大きく低減するのだろうと。</p> <p>人間関係の問題というのが、職場の人間関係というのは、実感が上昇した人も下降した人もここは横ばいの人も同じようなものなのですけども、むしろ実感が低下した人の方がここところは25.0ということですから、むしろそんなにここが問題になっているわけではないのだというところで、大きな動きからすると実質的な収入・給料が問題にみえる。そうすると沿岸の方が高くなっていたり、それから臨時雇用の人たちが高くなっていたりということを考え合わせてみても実際の収入が落ちてきたりなんかしているということがストレートに響いているのではないかと推察したい。</p>	竹村委員	意見	

9	<p>必要な収入・所得と対でありますけれども、ここが落ちているのと同じように仕事のやりがいも落ちていて、確かにリンクはしているし、竹村先生がおっしゃったので、もう一つ見ていると将来の収入、給料の見込みに対しての感覚が違いますね。現在の収入・所得についても皆さん関心高いけれども、さっき谷藤委員がおっしゃられた将来について不安感が大きいとここ、やりがいも低下する可能性もある程度あるかなと。今はいいのだけれども、この先どうなるか分からないしとか、取りあえず有期雇用だから今はいいけれどもねとか。この収入・所得というのは客観指標ではとれるのですか。客観的には可処分所得でとっているのか。</p> <p>つまり、所得・収入において横ばいとよく言われますけれども、実際岩手県の県民所得というのはよくないだろうか。逆に見比べてというのは、経年で見ても増えていないだろう。</p>	吉野部会長	意見	第2回
10	<p>私を知る限りですと、経年で毎年とっているデータというのが賃金とかそういうレベルはあるが、家計としてどうかというのは実はなくて、家計調査が一部あるが、あれもサンプル数少なくて非常に変動が大きいので、なかなか経年で見るには心もとないなという意味では、少なくとも私を知る限り毎年岩手県の家計の所得みたいなものはないかなと思う。</p>	和川委員	意見	